

日野町林業研究グループ協議会が 最優秀賞「滋賀県知事賞」を受賞



▶氏郷まつりでは、花の苗や木工製品などを販売されてきました

滋賀県林業研究グループ連絡協議会主催の第6回林業活動コンクールにおいて、日野町林業研究グループ協議会（奥村俊治会長）が最優秀賞「滋賀県知事賞」に選ばれ、10月27日に嘉田知事より賞状が授与されました。

これは、森林技術の向上および森林経営の発展のために、地域の振興・活性化を図っている自主的な活動が認められたものです。来年度に開催される近畿大会で、県代表として発表されます。

地方自治法施行60周年記念 監査事務功労者総務大臣表彰



山口 やまぐち 達雄 たつお さん（大窪）

10月16日、地方自治法施行60周年記念監査事務功労者総務大臣表彰において、前日野町監査委員の山口達雄さんが表彰を受けられました。

山口さんは、平成7年9月から12年にわたり監査委員として、日野町の財務管理等について、誠実かつ厳正に監査事務にご尽力いただきました。

今回は、その功績が認められての表彰となりました。

受賞おめでとうございます。

滋賀県学校歯科保健優良校表彰 西大路小学校が奨励校に

平成19年度滋賀県学校歯科保健優良校表彰において、西大路小学校が奨励校に選ばれました。



西大路小学校の子どもたち

これは、子どもたちが自分の歯の健康を自分自身で守り、育てるための正しい知識を身につける取り組みと、その成果が認められたものです。

西大路小学校では、「歯を大切にする」意識が広がり、給食後の歯みがきの習慣や正しいみがき方などの実践により、むし歯や歯石のある子が減りました。

受賞おめでとうございます。

受賞おめでとうございます。

受賞おめでとうございます。

感雑向綿

日野町長 藤澤直広

寒風をついて白い息をはずませ、タスキをつなぐ駅伝競走は冬の風物詩。高校生の長距離ランナーにとつて一番の憧れ

は、師走の都大路を走る全国高校駅伝。男子はマラソンと同じ42・195kmを7人でタスキをつな

ぎます。高校時代、出場を夢見て練習に励みましたが、県大会で2

位にとどまり出場できませんでした。今でもそのときの悔しさは忘れ

ません。県大会で優勝すれば全国大会へ、人口が約1,250万人

の東京都も、約60万人の鳥取県も、代表として1チームが参加し

ます。県民あげてふるさとのチームを応援します。

ところで、木曜日のテレビ番組で「秘密のケンミンショー」があり

ます。都道府県の特徴や秘密を面白く紹介しています。「長野県

民は誰でも『信濃の国は十州の』と県民歌が歌える」とか、「群馬

県民は誰でも『上毛カルタ』を知っている」とか。47都道府県民には、

それぞれふるさと意識があります。

ふるさと意識といえば、先月、滋賀県人会世界大会が大津市であり、ブラジル訪問でお世話になった山田ブラジル県人会会長や、秩父市の矢尾百貨店の矢尾さんも参加されていました。ふるさと「滋賀県」という意識の強さを実感しました。

ところが、今、こうしたふるさと意識の源である47都道府県を廃止（統合）して、8から9の道州に変える議論が行われています。

なぜ道州制なのか、十分な議論もないまま進められていることに疑問を感じます。道州制によって、

地方は元気になるのか、住民サービスや自治の機能は向上するのか。平成の大合併によって周辺部となっ

た町が活気を失っていることが少なくないだけに、県庁がなくなり

これまで県庁を中心にした状況がどうなるのか、地方の衰退に一層拍車

がかかるのではと懸念を抱いてしまっています。地方分権というのであ

れば、地方の拠点が47あってもいい、お国なまりでふるさとの自慢話に花が咲き、ふるさとへの誇りに瞳が輝く、自治の意識はそんな

中で育っていくのではないかと思います。